

2021 年度

事 業 報 告 書

社会福祉法人 静岡厚生会

社会福祉法人 静岡厚生会

経 営 理 念

私たち法人は、幾年月人生を重ねてこられた人々の幸せを願い心癒される豊かな暮らしの実現を目標に社会福祉法の理念に則り次のことを業務の基本とします。

安定した経営

介護保険を取り巻く環境の変動に視点を据え、将来を展望し地域福祉を担う法人の継続的・安定的経営を目指します。

地域への貢献

法人のあるべき姿を追求すると共に、地域社会の介護サービスの充実のため中心的役割を果たします。

適切な支援

法人の基本理念に則り、思いやりと優しさで接し、人として尊び、人権に基づく介護の実践に努めます。

行 動 指 針

施設は、利用者が安心して生活ができるよう健全な環境のもとで、思いやりと優しさで接し、人として尊び、人権に基づく介護の実践に努めます。

五つの誓い

- 1 私達は、利用者の豊かな経験を尊敬し人格を尊重いたします。
- 2 私達は、親切・丁寧・迅速な対応に努めます。
- 3 私達は、共に語り共に喜び明るい職場づくりに努めます。
- 4 私達は、誠意・積極・自己研鑽により利用者の信頼を得るよう努めます。
- 5 私達は、地域の人々との連携を深め、地域社会と共に歩む事業の運営に努めます。

総 括

私たちは、新型コロナ感染終息の見通しが立たない状況下においても、入居利用者や地域の高齢者、職員とその家族の生活を守っていかねばなりません。

しかしながら、不本意ではありましたが、清流の郷においてコロナ感染者が発生し終息まで1ヶ月余を要しました。幸いにもクラスター発生等大事には至らず安堵いたしました。これは、全スタッフが2回目のワクチン接種を済ませ、日頃からの予防対策に加え、発生時の適正な初動対応、そして、発生後多くの制限下で職員はじめ関係者の絶え間ない努力により、施設内外及び職員やその家族などへ拡散をする事もなく無事に終息することができました。ご心配をおかけした入居利用者家族の皆様方には、お詫び申し上げます。

経営では、本年度は報酬改定の年となりました。今回の改正は、国が進める科学的介護情報システム「LIFE」の導入移行体制のものが中心です。具体的には、両施設の介護記録の電子化を進めている中、この情報を「LIFE」システムを通じて国に提供することでの報酬加算が増収となりました。国は、この情報をビッグデータとして分析し、フィードバックするとのことです。また、コロナ感染予防対策措置への費用助成や介護職員処遇改善臨時特例交付金等の経済対策による加算もありました。さらに、低迷していた新緑の郷、通所介護において特別対策チームを発足させ、月の利用稼働率を50%台から70%台へと改善でき、収入増加となりました。その他、長く続くコロナ禍において日常活動の低下による運動機能不全や健康障害などにより、高齢者介護度の中重度化や在宅生活高齢者の新規サービスの利用等が増えたことも増収要因の一つでもあります。

当法人は設立から40余年が経過し、この間、清流の郷を移転して8年、新緑の郷を誕生させ15年が経過したところです。これまで多くの先人のご尽力、そして、関係する皆様方のお力添えやご支援によって多くの課題を乗り越え、本会の事業も経営も安定しつつあります。しかし、国内人口は減少の予測がされており、今後の少子高齢化社会を支えていくためには、事業の継続と継承を行う必要があります。本年度は先ず手始めとして、今後を見据えた組織体制を従来の統括事業本部から法人本部と総務部に分割しました。次の取組みとして、当法人の介護福祉事業の方向「あるべき姿」を定め、実現に向けての経営戦略、これを担う人材の育成がとても重要になってくると思います。そのためにも、早急に中長期計画の策定に着手し、安定した運営を目指したいと考えています。

6月より本会の代表として就任させていただき、初めての年度、大きな事故もなく無事に事業を終了できますことを周囲の関係者の皆様方のご尽力に心から感謝申し上げますと共に、次年度につきましても、引き続きご支援とご協力の程よろしくお願い申し上げます。

2022年3月

社会福祉法人 静岡厚生会
代表理事・理事長 榎本 雅 亮

【法人の主要事項】

2021 年

- 4 月 ・ 統括事業本部を廃し、法人本部(組織経営)と総務部(運営管理)を設置
 - ・ 厚生苑さくらの郷デイサービスセンター(サロン型通所サービス)開設
 - ・ オンライン会議(Web 会議)導入運用開始
 - ・ 新型コロナ感染予防関連の活動休止(延長)
 - ◇居場所づくり「い〜とこあんざい」・「厚生苑 しぞ〜かでん伝体操」
 - ◇厚生苑ふれあいボランティア他ボランティア活動
 - ・ 新型コロナ感染対策緊急会議開催(以下随時開催)
 - ・ 職員用不織布マスク配布(以下偶数月配布)
 - ・ 第 1 回 最優先目標ヒアリング
- 5 月 ・ コミュニケーションツール ビジネスチャットの導入運用開始
 - ・ 地域住民向け予防接種予約サポート実施〔安西地区民児協共催〕
- 6 月 ・ 任期満了により第 22 期役員選任(任期 2023 年 6 月まで)
 - 第 7 代理事長に榎本雅亮就任
 - ・ 第 3 回評議員選任解任委員会開催
 - ・ 任期満了により第 10 期評議員就任(任期 2025 年 6 月まで)
 - ・ 入居者及び職員 新型コロナワクチン接種(第 1 回)
 - ・ 地域住民向け予防接種予約サポート実施〔安西地区民児協共催〕
- 7 月 ・ 入居者及び職員 新型コロナワクチン接種(第 2 回)
 - ・ 地域住民向け集団予防接種会場への送迎実施〔安西地区民児協共催〕
- 9 月 ・ 職員用新型コロナウイルス抗原検査キット配布
 - ・ 厚生労働大臣が「子育てサポート企業」として認定〔第 3 期くるみん認定〕
- 10 月 ・ 第 2 回 最優先目標ヒアリング(5~9 月期間)
- 11 月 ・ 新旧理事長業務引き継ぎ
 - ・ 安西地区民児協研修会講師派遣
- 12 月 ・ デイサービス(新緑の郷) 生活総合機能改善機器導入運用開始

2022 年

- 1 月 ・ 清流の郷 新型コロナ感染発生による特別体制開始(2/28 解除)
 - 対応期間:1/25~2/27、感染者数:延べ 11 名(職員 5 名、入居者 6 名)
 - ・ 第 3 回 最優先目標ヒアリング(10~12 月期間、書面実施)
 - ・ 新緑の郷 見守りカメラ導入運用開始
- 2 月 ・ 入居者及び職員 新型コロナワクチン接種(第 3 回)
 - ・ 職員同居家族(未成年)用新型コロナウイルス抗原検査キット配布
- 3 月 ・ 2022 年度新卒者 4 名(四大卒 1 名・短大卒 2 名・高卒 1 名)採用内定
 - 採用職員父兄面談、施設見学会実施
 - ・ デイサービス(新緑の郷) 送迎車両 2 台を新車入れ替え
 - ・ 静岡市シェアサイクル事業の設置協力(さくらの郷駐車場にて運用開始)
 - ・ 次年度 重点課題・事業計画ヒアリング

法人本部 計画と目標の総括（法人本部長 松田 晃）

1.法人経営

（ア）第8次介護保険計画に沿った中期計画を策定する。

当該期の計画は、2021～2023年度の3年間、コロナ禍において施設間との十分な協議が進まず中期計画の策定までには至りませんでした。しかし、新執行部体制において将来を見据えた計画の必要性について協議し、次年度より長期計画の策定に着手をすることにしました。

（イ）ICTを活用するスキルを法人全体で高める。

日常身近で多くの人が利用しているコミュニケーションツール「LINE」のビジネスモデルを導入しました。介護システムのタブレット端末や業務用スマホ等により、日常の業務連絡やWeb会議などのあらゆる場面で利用することで、全体としてそのスキルを高めることができました。

（ウ）新たな組織機構における基盤と経営体制を整える。

従来の統括事業本部を法人本部と総務部に分割し経営方針とその実務機能を分化。更に迅速な経営判断ができるよう従来の経営会議に加え執行委員会を新たに設置しました。この他、施設の営繕保全をはじめリースや車両等管理の負担を軽減するため総務部にこれらの業務の集約を図りました。

2.法人運営

（ア）重度化・終末期を支える介護・看護体制の強化を図る。

法人本部が中心となり、施設間個々の看護業務について、専従の業務執行理事を配置。新たに施設看護調整チームと施設介護調整チームを立ち上げ、毎月1回、両施設看護課及び介護課の幹部と共に、重度化・終末期を支える看護体制及び介護体制の課題や方向性について協議を行いました。

（イ）感染予防体制指導の徹底と円滑なワクチン接種を進める。

体調変化時のための抗原検査キットの事前配付、疑陽性者や周囲のPCR検査体制等の確立により、早期初動体制強化を図りました。また、99%以上の職員がエッセンシャルワーカーとして、6～7月の間に2回、1～2月の間に1回、計3回の新型コロナワクチンの先行接種を行いました。

（ウ）新人職員の教育・訓練及び育成環境を改善して就労の定着化を図る。

新卒者の個性や特性を理解し仕事を通じて育む環境の改善として、採用時の両親との個別面談会を実施。施設見学はじめ業務内容や研修プログラム等の説明、本人の性格や指導上の留意点なども確認。指導者と新人職員間のグループラインも設定し疑問や苦労など共感支え合える環境を整えました。

(エ) 中堅職員の専門性を高めて、技術に基づく介護の実践を行う。

感染予防対策によって従来の外部研修(OFF-JT)の開催中止状態が続く中、福祉領域の教育、研究、外部評価を行っているお茶の水ケアサービス学院のVOD（ビデオオンデマンド）を活用して、全介護職員に対しての各自のスキルや本人の希望に沿ったオンライン研修を行いました。

(オ) 当該地域における地域貢献活動を支援していく。

コロナ禍で活動の多くが制限を受ける中、安西地区民生児童委員協議会の定例会や同地区社会福祉推進協議会の運営委員会・役員会に出席。従来の活動再開できない中で地域ニーズの把握に努め、地域高齢者のためのワクチン接種予約及び集国会場への送迎活動への協力と支援を行いました。

総務部 計画と目標の総括（総務部長 江田 仁）

1.総務企画

- （ア）勤怠管理システム導入により勤怠状態の可視化を図る。

打刻を職員の勤務フロアで行えるよう、既に配備したタブレット端末を使用する条件でシステムを検討、導入候補を決定。12月から各勤務フロアで出勤・退勤の打刻ができるよう試験運用を開始しました。今期は勤務シフトの対応等詳細な設定ができなかったため、引き続き次期の目標とします。

- （イ）福祉人材確保のための採用手法及びルートの開発をする。

中途採用については、ハローワーク・福祉人材センター等へ直接依頼に出向いたり求人票を細分化して登録しました。また、法人職員からの紹介制度やホームページによる告知により7名の職員を採用できました。また、新卒採用は就職サイトの利用や学校訪問により前年と同じ4名を採用できました。

- （ウ）法人内の各種事務申請手順を明確にする。

資格取得助成制度では研修担当者と総務担当者の役割分担を明確化し、手順書を作成することで手続き漏れがないようにしました。産休育休取得では制度を理解するため部内での勉強会を実施し、以降は職員とより密接に連絡を取り合うことを目的として拠点事務員が担当するように手順を改めました。

2.運用管理

- （ア）BCPの計画に着手し法人全事業の策定を2024年までに行う。

BCPの作成については、情報収集やWeb研修視聴に留まり着手には至りませんでした。情報収集では、厚生労働省等から作成ツール等を入手しました。研修では、作成手順や災害種別ごとの作成ポイントなどについて知見を得ました。これを基に次期からBCP・改修計画策定チームにて作成を行います。

- （イ）ICTのインフラ整備と端末保守とセキュリティ管理計画を策定する。

インフラ整備として各拠点にWi-Fiローミング環境を整えました。端末保守とセキュリティ管理計画においては、情報端末の配置状況の確認、情報収集に留まりました。情報端末の保守に関しては、不調時に対応できる職員の育成を行いました。次期BCP・改修計画策定チームにて対応していきます。

- （ウ）防災備蓄や保管書類、その他物品について調査し管理計画を策定する。

防災備蓄については県補助金を活用し、福祉避難所開設時の感染症対策用品を整備しました。防災倉庫の整理が未着手で収納品の確認に留まりました。物品管理は法定点検を要する機器類の把握を行いました。法人全体の物品管理には至りませんでした。次期BCP・改修計画策定チームにて対応していきます。

I. 法人概要

- 1 法人名 社会福祉法人 静岡厚生会
- 2 代表者 榎本 雅亮
- 3 所在地 静岡市葵区北番町 17-5
- 4 認可日 1979 年 11 月 26 日
- 5 登記日 1980 年 1 月 23 日
- 6 組 織

〔顧問〕	鈴木 脩造	〔役員〕	理事長	榎本 雅亮
〔相談役〕	芹澤 博		専務理事	松田 晃
	寺尾 恵亘		理 事	中川 恵美子
〔評議員〕	小野田ふみ子		理 事	中山 千砂子
	河俣 貴之		理 事	海野 フミ子
	坂野 浩義		理 事	内藤 孝二
	鈴木 文隆		監 事	長 嵩 吉宏
	鈴木 洋一		監 事	大石 哲生
	谷 功			
	中村 敏六			
	山本 正樹			

〈2022 年 3 月 31 日現在〉

7 活動拠点

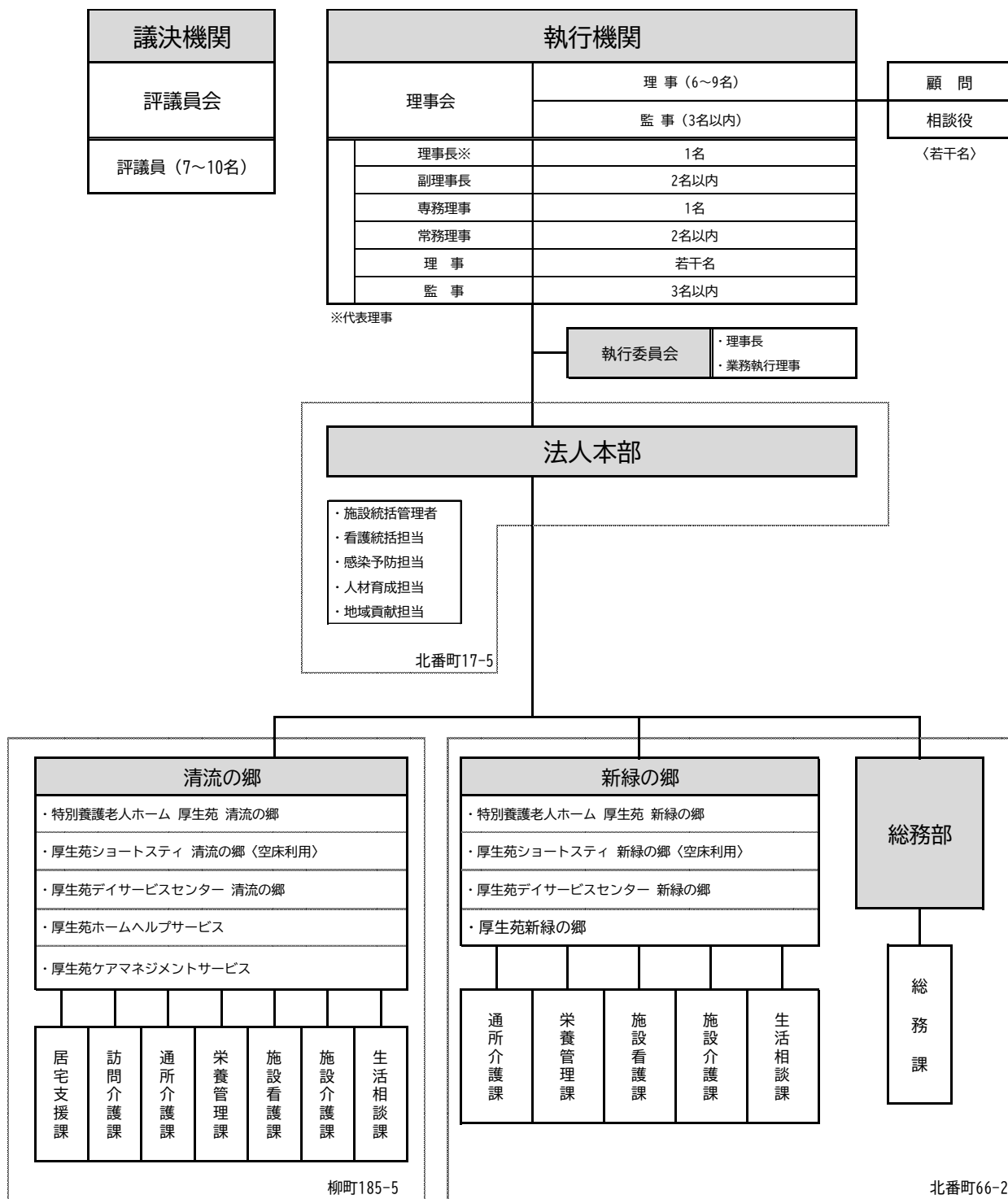
拠点名	所在地	敷地	建物	構造
厚生苑 さくらの郷	静岡市葵区北番町 17-5	347.19 m ²	643.54 m ²	鉄骨 3 階建
厚生苑 清流の郷	静岡市葵区柳町 185-5	3,295.49 m ²	6,358.75 m ²	鉄骨 4 階建
厚生苑 新緑の郷	静岡市葵区北番町 66-2	1,773.36 m ²	3,350.73 m ²	鉄骨 4 階建

8 実施事業

事業部門（管理者）	実施事業	定員	開始日
厚生苑 清流の郷 （施設長 大橋 豊）	特別養護老人ホーム	120 人	1980 年 6 月 1 日
	ショートステイ（空床利用）	－人	1982 年 11 月 12 日
	デイサービスセンター	35 人	1996 年 4 月 1 日
	ケアマネジメントサービス	－	1999 年 10 月 1 日
	ホームヘルプサービス	－	1996 年 4 月 1 日
厚生苑 新緑の郷 （施設長 武田 剛）	特別養護老人ホーム（10 床休止中）	40 人	2005 年 9 月 1 日
	ショートステイ（空床利用）	－人	2005 年 9 月 1 日
	デイサービスセンター	35 人	2005 年 9 月 1 日
	ケアマネジメントサービス	－	2010 年 9 月 1 日
厚生苑 さくらの郷 （責任者 松田 晃）	デイサービスセンター	5 人	2021 年 4 月 1 日
	在宅(老人)介護支援センター	－	2017 年 7 月 3 日

9 組織図

社会福祉法人 静岡厚生会



10 職員配置状況

		雇用形態	管 理 者	介 護 職 員	訪 問 介 護 員	看 護 職 員	機 能 訓 練 指 導 員	主 任 介 護 支 援 専 門 員	生 活 相 談 員	介 護 支 援 専 門 員	管 理 栄 養 士	労 務 職 員	運 転 手	施 設 駐 在 員	総 務 部 付	産 休 育 休 者	総 計		
厚生苑 さくらの郷	法人本部 総務部	正規職員	2												2		4		
		有期職員	1			1							1			1		4	
		計	3			1							1			3		8	
	人材育成室 地域貢献室 (老人介護支援センター)	正規職員																	
		有期職員														1		1	
		計														1		1	
	拠点計	正規職員	2													2		4	
		有期職員	1			1								1			2		5
		計	3			1								1			4		9
厚生苑 清流の郷	施設介護	正規職員	1	44		4	1			1	1				2	1	55		
		有期職員		9		6	1			1	1	2		3			23		
		計	1	53		10	2			2	2	2		3	2	1	78		
	通所介護	正規職員		1					2								3		
		有期職員		5		2	1			1				1			10		
		計		6		2	1			3				1			13		
	居宅介護支援	正規職員						1	1								2		
		有期職員							2	2							4		
		計							3	3							6		
	訪問介護	正規職員			2												2		
		有期職員			6												6		
		計			8												8		
	拠点計	正規職員	1	45	2	4	1	1	4	1						2	1	62	
		有期職員		14	6	8	2	2	4	1	2	1	3				43		
		計	1	59	8	12	3	3	8	2	2	1	3	2	1		105		
厚生苑 新緑の郷	施設介護	正規職員	1	16		3				1	1						22		
		有期職員		4										4		1	9		
		計	1	20		3				1	1			4		1	31		
	通所介護	正規職員		3					2								5		
		有期職員		3		2	1							1			7		
		計		6		2	1			2				1			12		
	居宅介護支援	正規職員	1														1		
		有期職員																	
		計	1														1		
拠点計	正規職員	2	19		3				3	1							28		
	有期職員		7		2	1							1	4		1	16		
	計	2	26		5	1			3	1			1	4		1	44		
法人全体		正規職員	5	64	2	7	1	1	7	2					4	1	94		
		有期職員	1	21	6	11	3	2	4	1	3	2	7	2	1		64		
		計	6	85	8	18	4	3	11	3	3	2	7	6	2		158		

2022年3月31日現在(単位:人)

II. 法人運営状況

1 理事会（開催回数 7 回）

回数	開催日時等	理事出席／総数 〔監事出席／総数〕	審議事項・報告	
1 (第 182 回)	2021 年 5 月 28 日 (金) 午後 2 時 00 分から午後 3 時 25 分まで 於：厚生苑さくらの郷 3 階 地域交流室	6 人／6 人 〔2 人／2 人〕	報告	①理事長専決事項
			議題	①計算書類・事業報告書の承認の件 ②定款変更の件 ③次期役員選任の件 ④次期評議員候補者推薦の件 ⑤評議員選任解任委員会の招集と開催の件 ⑥公印規程の一部改正の件 ⑦重要な人事の件 ⑧定時評議員会の招集と開催の件
2 (第 183 回)	2021 年 6 月 24 日 (木) 午後 3 時 55 分から午後 4 時 15 分まで 於：厚生苑さくらの郷 2 階 研修室	6 人／6 人 〔2 人／2 人〕	議題	①代表理事(理事長)の選定の件 ②業務執行理事の選定の件 ③専務理事の選定の件 ④常勤役員の報酬年額の件 ⑤顧問・相談役の選任の件 ⑥第三者委員の選任の件 ⑦評議員選任・解任委員の選任の件
3 (第 184 回)	2021 年 8 月 24 日 (火)	決議の省略 により開催	決議 事項	①重要な人事の件 ②厚生苑看取り介護指針の改正の件 ③高齢者虐待防止に関する指針の制定の件
4 (第 185 回)	2021 年 9 月 29 日 (水)	決議の省略 により開催	決議 事項	①パート及びヘルパー就業規則改正の件
5 (第 186 回)	2021 年 11 月 16 日 (火) 午後 1 時 00 分から午後 1 時 55 分まで 於：厚生苑さくらの郷 3 階 地域交流室	6 人／6 人 〔2 人／2 人〕	報告	①理事長及び業務執行理事の業務執行状況報告 の件 ②理事長専決事項 ③清流の郷罹災の件
			議題	①送迎車両購入の件 ②各種規程の改正の件 ③臨時評議員会の招集と開催の件
6 (第 187 回)	2021 年 12 月 15 日 (水) 午前 10 時 30 分から午後 12 時 00 分まで 於：厚生苑さくらの郷 3 階 地域交流室	6 人／6 人 〔2 人／2 人〕	報告	①行政監査の件 ②理事長専決事項 ③2021 年度上半期法人運営状況の件
			議題	①定款変更の件 ②各種規則・規程の改正・制定の件
7 (第 187 回)	2022 年 3 月 29 日 (火) 午後 2 時 00 分から午後 4 時 10 分まで 於：厚生苑さくらの郷 3 階 地域交流室	6 人／6 人 〔2 人／2 人〕	報告	①新型コロナ関連報告の件 ②理事長及び業務執行理事の業務執行状況報告 の件 ③理事長専決事項
			議題	①2021 年度最終収支補正予算案の件 ②2022 年度事業計画の件 ③2022 年度当初予算の件 ④2022 年度短期資金の借入の件 ⑤諸規程・規則改正の件 ⑥重要な人事の件 ⑦業務委託契約の更新の件 ⑧役員賠償責任保険更新の件

2 評議員会（開催回数 2 回）

回数	開催日時等	理事出席／総数 (監事出席／総数)	審議事項・報告	
1 (第 67 回)	2021 年 6 月 24 日 (木) 午後 2 時 00 分から午後 3 時 30 分まで 於：厚生苑さくらの郷 3 階 地域交流室	8 人／8 人 (2 人／2 人)	議題	①事業報告・計算書類の承認の件 ②定款変更の件 ③第 22 期役員の選任の件
			報告	①組織改編の件 ②事業計画・当初予算の件
2 (第 68 回)	2021 年 12 月 15 日 (水) 午後 2 時 00 分から午後 4 時 00 分まで 於：厚生苑さくらの郷 3 階 地域交流室	8 人／8 人 (2 人／2 人)	議題	①定款変更の件
			報告	①行政・監事監査の件 ②上半期経営状況の件 ③諸規程規則の改正制定の件 ④虐待事案の件 ⑤罹災の件 ⑥送迎車両入れ替え整備の件

3 監 査（開催回数 3 回）

開催日時等	実施立会	監査項目
監事監査[決算監査] 2021 年 5 月 20 日（木） 午前 9 時 30 分から午後 3 時 00 分まで 総務部 厚生苑 清流の郷 厚生苑 新緑の郷	監 事 長 嶋 吉宏 大石 哲生 理事長 内藤 孝二 専務理事 松田 晃 理事(看護統括) 中川恵美子 理事(施設統括) 中山千砂子 総務部長 江田 仁 厚生苑 清流の郷施設長 大 橋 豊 厚生苑 新緑の郷施設長 武田 剛	「監事のための監査チェックマニュアル(改訂第 13 版)」による 2020 年度 決算監査 (業務監査) 行政監査の指摘事項確認と改善状況、定款の状況、理事の業務執行状況、登記の状況、事業全般の状況、施設運営の状況、社会福祉充実計画、事業報告及び附属明細書 (会計監査) 予算の編成・執行状況、事業区分・拠点区分・サービス区分と帳簿の整備状況、残高確認と実査、計算書類・附属明細書の妥当性、介護保険関連施設
監事監査[定期監査] 2021 年 11 月 9 日（火） 午前 9 時 30 分から午後 4 時 20 分まで 総務部 厚生苑 清流の郷 厚生苑 新緑の郷	監 事 長 嶋 吉宏 大石 哲生 理事長 榎本 雅亮 専務理事 松田 晃 理事(看護統括) 中川恵美子 理事(施設統括) 中山千砂子 総務部長 江田 仁 厚生苑 清流の郷施設長 大 橋 豊 厚生苑 新緑の郷施設長 武田 剛	「監事のための監査チェックマニュアル(改訂第 13 版)」による 2021 年度 定期監査 (業務監査) 行政監査の指摘事項確認と改善状況、定款の状況、理事の業務執行状況、登記の状況、事業全般の状況、施設運営の状況、危機管理の状況、入所者預り金の管理状況、情報開示、特別の利益供与の禁止、社会福祉充実計画 (会計監査) 内部牽制組織の状況、収入と支出、物品購入と契約、介護保険関連施設
静岡市 社会福祉法人指導監査 (実施:静岡市福祉総務課) 2021 年 10 月 19 日（火）	監 事 長 嶋 吉宏 理事長 榎本 雅亮 専務理事 松田 晃 理事(看護統括) 中川恵美子 理事(施設統括) 中山千砂子 総務部長 江田 仁	「令和 3 年度 社会福祉法人指導監査資料」による監査 (社会福祉法人指導監査) ・組織/運営 ・資産/負債 ・会計/経理
静岡市 社会福祉施設指導監査 (実施:静岡市福祉総務課) 2021 年 10 月 20 日（水）	書面による指導監査	「令和 3 年度 社会福祉施設（特別養護老人ホーム）指導監査資料」による監査 (社会福祉施設指導監査) ・処遇関係 ・会計/経理関係 ・運営/管理関係

4 主要会議・行事

(1) 執行委員会（開催回数 5 回）

開催日時	2021 年 7 月 8 日（木）午後 2 時 00 分～ 9 月 2 日（木） 〃 11 月 4 日（木） 〃 2022 年 1 月 6 日（木） 〃 3 月 10 日（木） 〃	出席者	理事長 榎本 雅 亮 専務理事 松田 晃 理 事 中山千砂子 理 事 中川恵美子 理 事 海野フミ子 理 事 内 藤 孝 二 ほか幹部職員
------	--	-----	--

(2) 顧問・相談役報告会

開催日時	2021 年 7 月 26 日（月） 午前 11 時 30 分から午後 12 時 00 分まで 於：椿亭	出席者	相談役 芹 澤 博	報告者	理事長 榎本 雅 亮 専務理事 松田 晃 理 事 内 藤 孝 二
------	--	-----	-----------	-----	--

(3) 経営分析会議

開催日時	2021 年 11 月 16 日 (火) 午前 10 時 00 分から午後 12 時 00 分まで 於：厚生苑さくらの郷 3 階 地域交流室	講師	杉山公認会計事務所 所 長 杉山 明喜雄 「2020 年度決算分析」 石上社会保険労務士事務所 代 表 石上 未紀 「社会保険加入対象者の 適用拡大と育児介護 休業法改正」について	出席者	理 事 長 榎本雅亮 専務理事 松田 晃 理 事 中山千砂子 理 事 中川恵美子 理 事 海野フミ子 理 事 内藤孝二 監 事 長 嶋吉宏 監 事 大石哲生 ほか幹部職員
------	---	----	---	-----	---

(4) 次年度新卒採用者内定式及び入職前ガイダンス

開催日時	2022 年 3 月 7 日 (月) 午前 9 時 30 分から午後 4 時 30 分まで 於：厚生苑さくらの郷 2 階 研修室	採用者	大 学 生 1 人 短期大学生 2 人 高 校 生 1 人 計 4 人	出席者	理 事 長 榎本雅亮 専務理事 松田 晃 理 事 中山千砂子 人材育成室長 平澤雅美
------	---	-----	--	-----	---

5 地域貢献事業

(1) 厚生苑在宅介護支援センターの運営

地区・町内の居場所づくり「い〜とこあんざい」は、2018年3月から厚生苑JAさくらの郷を会場としてスタートしていますが、新型コロナウイルス感染症対策の為、2021年度は開催を見合わせました。民生委員主体のしぞ〜かでん伝体操も開催されず、地区社協の理事会・運営委員会もほとんどが中止となっており、時折、地区社協の主要メンバーの方々が打ち合わせにさくらの郷1階フロアを利用されています。

各関係機関との関係においては、圏域の安西・番町地域包括支援センターと連携を図り相談者の対応にあたりました。県地域包括・在宅介護支援センター協議会主催の職員研修及び総会も中止となり書面で閲覧・オンラインでの研修参加となりました。

民生委員主体で、コロナワクチン接種予約のお手伝いをしました。1・2回目38名接種予約、他7名の方を2回接種会場へ送迎をしました。3回目接種は94名の方の予約を手伝っています。

地域の福祉人材の育成（ふれあいボランティア）

ふれあいボランティアの活動は、新型コロナウイルス感染症対策の為、受け入れしていません。

① 地区別 年間相談件数

地 区	安 西	番 町	圏域外	匿 名	合 計	他機関紹介
相談人数	1人	0人	3人	2人	6人	5人
対応件数	1件	0件	3件	1件	5件	4件

② 相談内容（相談内容により複数にカウント）

相 談 内 容	総計	相 談 内 容	総計
介護保険申請からサービス利用までの支援		退院に関する相談	
認知症の相談		障害に関する相談	
生活状況の確認		生活保護に関する相談	
その他	3件	地域の情報提供（S型デイ等）	
虐待・虐待疑い		介護予防・日常生活支援総合事業	
在宅福祉サービス	1件	成年後見・日常生活自立支援事業	
消費者被害		苦情	
施設の入所相談	1件	総 計	5件

③ 地域福祉活動への協力と支援

ア) 地域交流サロン「い〜とこあんざい」：※2021年度は開催していません。

イ) しぞ〜かでん伝体操：※2021年度は開催していません。

ウ) S型デイサービス ひまわりの会（末広町公民館）：※2021年度は開催していません。

* しぞ〜かでん伝体操・S型デイサービスは2020年2月後半から、「い〜とこあんざい」は2020年3月から新型コロナウイルス感染症対策の為、休止しています。

・高齢者の外出支援事業（福祉車両の無料貸出・おでかけ安西号の運用）

高齢や障害等の理由により移動外出等が困難な方の通院や買い物・墓参・冠婚葬祭等の外出支援のため、本会が所有する移動外出支援用車両（車椅子が乗る車両（軽自動車））の貸し出しを行う事業です。※2021年度は貸し出しがありませんでした。

・地域の福祉人材の育成（ふれあいボランティア）

周辺地域住民のマンパワーの確保と福祉人材の育成の一つとして、有償ボランティア制度を導入、昼食の提供の他、活動回数に応じて静岡県くみあい商品券を提供しています。

登録制で、見守りや話し相手・会食など高齢者の方々と一緒に過ごしていただく寄り添う活動が中心です。※2021年度は、新型コロナウイルス感染症対策として受け入れを中止しました。

・生活困窮者自立支援制度の就労訓練事業

2015年4月に施行された生活困窮者自立支援制度で、生活困窮者や引きこもりなどですぐに一般就労に従事することが難しい人をサポートして就労訓練の機会や体験を行う事業で2018年9月に静岡市から就労訓練事業所の認定を受けました。自立相談支援機関の下で清流の郷の介護の補助業務の体験就労を提供する事業です。※2021年度の利用はありませんでした。

6 第三者委員会苦情解決・虐待防止報告会・優先入所判定会の開催状況

回数	実施日	開催方法	苦情件数		虐待件数	
			清流の郷	新緑の郷	清流の郷	新緑の郷
1	4月23日	合同	ショート1件	－	－	－
2	5月14日	合同	－	－	－	－
3	6月11日	合同	居宅1件	－	－	－
4	7月06日	合同	－	－	－	－
5	8月12日	Web	－	－	－	特養1件
6	9月10日	Web	－	－	－	－
7	10月08日	Web	－	－	－	－
8	11月17日	Web	－	－	特養1件	－
9	12月22日	Web	－	－	－	－
10	1月07日	合同	－	－	－	－
11	2月10日	書面	－	－	－	－
12	3月11日	Web	－	－	－	－
計			ショート1件 居宅1件		特養1件	特養1件

7 人材育成とキャリアパス支援の取組み

(1) 新人研修…新卒採用職員の定着率及び基礎力向上を目的に年間を通じて研修会を開催しました。

集合研修は新型コロナウイルス感染症対策の為、最小限としました。

実施日	形式	項目	内容	出席者数
4月1日～8日	集合	基礎教育	基本知識研修・基本技術研修	4人
4月23日	集合	振り返り	マナー研修	4人
5月24日	集合	振り返り	ケアプランの振り返り	4人
6月7日	集合	基礎教育	医療的ケア研修	4人
6月11・12日	集合	振り返り	支援技術研修	4人
6月11・12日	個人	面接	現状確認とこれからの目標	4人
10月1日	集合	基礎教育	本採用職員研修	4人
11月19日	集合	外部研修	フォローアップセミナー	4人
3月15日～17日	個人	基本技術評価	現状確認とフィードバック	中止

(2) 内部研修…法定研修とアンケートによる希望の WEB 研修を内部研修として開催しました。

実施日	主催	内 容	施 設	受講者数
7 月 1 日～17 日	お茶の水学院	チームワークを築くために必要な視点と合意形成	清流の郷 新緑の郷	26 人 20 人
7 月 18 日～31 日	〃	チームワークの基本と成長プロセス	清流の郷 新緑の郷	19 人 18 人
8 月 1 日～14 日	〃	変化を受け入れられない本質とチーム メンバーを育てるために	清流の郷 新緑の郷	21 人 11 人
8 月 15 日～28 日	お茶の水学院	チームにおけるリーダーの役割と成果に 結びつける視点及び取り組み	清流の郷 新緑の郷	12 人 10 人
8 月 29 日～9 月 11 日	お茶の水学院	法定研修① 虐待防止に関する理解	清流の郷 新緑の郷	99 人 37 人
9 月 12 日～25 日	〃	法定研修② 身体拘束排除の基礎知識	清流の郷 新緑の郷	99 人 37 人
10 月	施設看護	感染症予防 ゾーニング 新型コロナウイルス感染症を学ぶ	清流の郷 新緑の郷	53 人 20 人
11 月 30 日～12 月 8 日	〃	急変研修（転倒・外傷）	清流の郷 新緑の郷	53 人 20 人
12 月 7 日～1 月 16 日	〃	ガウン着脱研修	清流の郷 新緑の郷	53 人 20 人
1 月 17 日～31 日	〃	吸引研修	清流の郷 新緑の郷	53 人 20 人
2 月	お茶の水学院	事故防止の知識		中止
3 月	〃	感染症、食中毒及び感染症防止研修		中止
年間合計				701 人

(3) 外部研修…職員のスキル及び職員の希望に沿って、外部の研修及び講習会に参加しました。

月	研 修	主 催	清流の郷	新緑の郷	本部 総務
4	社会福祉施設長資格認定講習 通信課程	中央福祉学院	1 人	－ 人	1 人
	社会福祉施設長専門講座	中央福祉学院	1 人	－ 人	－ 人
6	個別機能訓練加算、ADL 維持等加算算定における課題と IT 活用による解決策	NEC	－ 人	1 人	－ 人
	社会福祉施設における新型コロナウイルス対策実地研修	厚労省	10 人	－ 人	2 人
	リスクマネジメント	お茶の水学院	1 人	－ 人	－ 人
7	社会福祉法人等が経営する社会福祉施設・事業所向け国内 合宿研修会	厚労省 & 公益財団法人社会福祉振興・ 試験センター	1 人	－ 人	－ 人
8	介護施設における安全対策担当者養成研修会	公益社団法人全国老人福祉施設協議会	2 人	1 人	－ 人
9	認定看護師研修 認知症研修	静岡済生会総合病院 看護部 認定看護師会	8 人	3 人	－ 人
10	全国地域包括・在宅介護支援センター研究大会	静岡県地域包括・在宅介護 支援センター協議会	－ 人	－ 人	1 人
	JA 介護保険事業研修会（居宅介護支援）	全国農業協同組合中央会	1 人	－ 人	－ 人
	認定看護師研修 「施設の感染対策 それで大丈夫？」	静岡済生会総合病院 看護部 認定看護師会	8 人	3 人	－ 人
	感染症対策研修	サラヤ	8 人	3 人	－ 人

11	オンライン研修 みんなでNOハラスメント	あかるい職場応援団	2人	2人	4人
	令和3年度 安全運転管理者講習会	静岡県公安委員会	1人	1人	－人
	イクボスリーダー養成講座	(静岡県委託事業) 東海道シグマ	－人	－人	1人
	合同入職式 フォローアップセミナー	静岡県社会福祉人材センター	4人	－人	－人
	金属5年表彰式・記念講演	介護労働安定センター	3人	－人	－人
	J Aレベルアップ研究集会	静岡県農業協同組合中央会	2人	－人	－人
12	静岡福祉大学企業内セミナー	静岡福祉大学	－人	－人	2人
	生産性向上支援訓練 組織力強化のための管理	静岡職業能力開発促進センター	－人	－人	1人
	生産性向上支援訓練 後輩指導力の向上と中堅・ベテラン従業員の役割	静岡職業能力開発促進センター	1人	1人	－人
	中長期計画策定セミナー	全国老人福祉施設協議会・法人経営者協議会	－人	－人	1人
	リスクマネジャー養成講座	全国老人福祉施設協議会・法人経営者協議会	－人	－人	1人
	認定看護師研修 「高齢者の皮膚の特徴・予防スキンケア」	静岡済生会総合病院 看護部 認定看護師会	8人	3人	－人
1	静岡県J A高齢者福祉研究会「経営者・管理者合同部会」	静岡県厚生農業協同組合連合会	－人	－人	1人
	令和3年度全国地域包括・在宅介護支援センター等職員研修	静岡県地域包括・在宅介護支援センター協議会	－人	－人	1人
	2021年度相談援助実習報告会・実習指導者意見交換会	静岡福祉大学	1人	－人	－人
	リスクマネジメント	お茶の水学院	1人	－人	－人
2	リスクマネジャー養成講座	全国老人福祉施設協議会 ・法人経営者協議会	－人	－人	1人
3	イクボスリーダー養成講座	(静岡県委託事業) 東海道シグマ	－人	－人	1人
	静岡市認定調査員新任研修	静岡市保健福祉長寿局健康福祉部	4人	2人	1人
年 間 合 計 (107人)			68人	20人	19人

* 2021年度は、新型コロナウイルス感染症対策のためにほとんどの集合研修が中止となり、外部研修はWeb研修中心での受講となりました。

(4) 受験結果

項 目	介護福祉士	社会福祉士	介護支援専門員
受 験 者 数	4人	0人	3人
合 格 者 数	3人	0人	2人
合 格 率	75.00%	0.00%	66.00%

(5) 講習資格受講者・保有者

項 目	社会福祉主事 通信教育課程	介護福祉士 実習指導者講習	社会福祉士 実習指導者講習	介護教員 講習	医療的ケア 教員講習	主任介護支援 専門員講習	防火管理者 講習
受 験 者 数	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
受 講 済 者 累 計	16人	9人	8人	2人	4人	7人	10人

(6) 実習生受入人数及び実習延べ日数

項 目	介護福祉士	社会福祉士	管理栄養士	体験実習	初任者研修	合計
実 習 者 数	3 人	5 人	2 人	3 人	0 人	人
受 入 延 日 数	70 日	109 日	10 日	3 日	0 日	192 日

(2021 年度は、静岡女子高、静岡福祉大学の介護福祉実習、社会福祉士相談実習と静岡県立大学短期大学部の栄養実習、人材センターの体験実習を受け入れております。)

8 各種施設・事業所の計画と実績

『事業計画・事業報告（別表）』

2021 年度

厚生苑 清流の郷
事業報告

清流の郷 計画と目標の総括（施設長 大檐 豊）

1.施設入所〔特別養護老人ホーム〕【目標：実績】年間利用者 42,622 名：42,663 名／稼働率 97.30%：97.40%

（ア）職員が安心して働ける環境づくりを進める。

誤嚥、窒息、転倒、外傷など救急対応に備えた介護技術の研修を実施しました。新型コロナの発症シュミレーションを行い、緊急連絡網を使用した情報伝達訓練や防護服の着脱訓練を行いました。オンラインを活用して委員会や会議を開催し、職員が非常時にも安心して業務に臨める体制づくりを進めました。

（イ）ICT を活用した作業の効率化と業務の負担軽減を進める。

介護ソフトを導入・活用し、日常の介護記録をタブレット端末で入力することで、記録業務の省力化を進めました。科学的介護情報システム「LIFE」に定期的に入居者のデータを提出し、科学的介護推進体制加算を取得しました。また、多機能型車イスを購入し、移乗介助の身体的負担の軽減を進めました。

（ウ）コロナ禍においても、利用者の楽しみや豊かさを充実させる。

感染症対策を行いながら夏祭りなどの季節行事を行い、入居者と職員がレクリエーションを楽しみました。面会制限が続きましたが、家族に個別の写真入りのメッセージカードを郵送し、普段の入居者の様子を知っていただきました。施設全体で看取り介護の振り返りを行い、今後の看取り介護に役立てました。

2.通所介護〔デイサービスセンター〕【目標：実績】年間利用者 8,281 名：8,156 名／稼働率 76.50%：75.41%

（ア）国の介護保険計画に沿ったサービスの充実を図る。

高齢者向け音楽療養ソフトのコンテンツを活用し、レクリエーションや機能訓練を実施しました。感染予防のため車で外出しての機能訓練は実施できませんでしたが、施設内で実施できる小集団体操の新メニューの拡充、作業療法を兼ねたちぎり絵などの壁飾り制作を積極的に実施しました。

（イ）記録システムによる職員間の情報共有の中で、質の高いサービスを試みる。

介護ソフトを導入し、タブレット端末を利用して記録を入力することで、記録業務の迅速化と情報の共有化、ペーパーレス化に取り組みました。入力方法はミーティングの時間を活用し、実際にタブレットに触れながらレクチャーを受けることで、全職員がマスターすることが出来ました。

（ウ）地域防災への参加と職員間の危機意識の共有化とそのための実践訓練を行う。

地震、火災、洪水を想定した月 1 回の防災訓練を実施し、職員と利用者間で災害時の危機意識の共有を図りました。地域防災への参加については、新型コロナの影響で地域の防災訓練が実施されず訓練に参加する機会がなかったため、地域との連携については今後の課題となりました。

3.居宅介護支援・訪問介護

〔ケアマネジメントサービス〕【目標】年間利用者 2,880 名〈予防 1,120 件・要介護 1,760 件〉
：【実績】年間利用者 3,110 名〈予防 1,204 件・要介護 1,906 件〉
〔ホームヘルプサービス〕【目標】年間利用者 6,714 名〈予防 1,830 件・要介護 4,824 件〉
：【実績】年間利用者 7,424 名〈予防 1,507 件・要介護 5,917 件〉

(ア) デイサービスや地域等と連携して積極的に情報を発信・共有していく。

ワクチンの予約や接種会場への移動支援の情報提供を行い、利用者の接種がスムーズに行えるよう支援しました。民生委員と連携するケースが増えており、今後も地域の関係者と連携していく必要を感じました。法人内の在宅合同調整チーム会議で他事業所の状況についてデイサービスと情報共有を行いました。

(イ) 研修や情報の共有を通じて個人差のないサービス水準に整えていく。

ミーティングにおいて、訪問では訪問介護計画の共有、居宅ではケースの共有を行いました。訪問では、ヘルパーが一定期間集合できなかった期間でも書面郵送によりケースの情報の共有ができるよう努め、居宅では、一部オンライン会議を活用してミーティングを実施し、サービス水準の標準化に努めました。

(ウ) 職員が感染媒体とならないよう感染拡大予防対策を実践する。

感染情報を法人内事業所に迅速に発信するよう努めました。発信元事業所に詳細な聞き取りを行い、サービスの利用休止や検査実施の必要性の判断を的確に行うことができました。他のサービスが利用休止となった場合にも訪問が必要な利用者をあらかじめピックアップし、継続支援できる体制を整えました。

主たる活動報告一覧表（清流の郷）

月	実 施 事 項	実施日
4 月	新人職員研修	1 日（木）～
	運営会議（施設長交代、経営会議報告、事業計画、新型コロナ関連 他）	15 日（木）
5 月	運営会議（経営会議報告、コロナワクチン接種、新型コロナ関連 他）	14 日（金）
	監事監査（決算監査）	20 日（木）
6 月	新型コロナウイルス感染症対策実施研修	15 日（木）
	静岡ホーム園児来苑	17 日（木）
	運営会議（経緯会議報告、科学的介護加算算定、新型コロナ関連 他）	18 日（金）
	入居者及び職員 新型コロナワクチン接種（第1回）	3・11・18・21・ 24・28 日
7 月	静岡女子高実習受入	5～16 日
	運営会議（経営会議報告、静岡福祉大学実習生、新型コロナ関連 他）	16 日（金）
	入居者及び職員 新型コロナワクチン接種（第2回）	2・9・12・19 日
8 月	職員健康診断	8 月～9 月
	運営会議（経営会議報告、実習生の対応、新型コロナ関連 他）	16 日（月）
	夏祭り（各フロア）	16～25 日
	静岡福祉大学社会福祉士養成課程実習受入	16 日～9 月 17 日
9 月	敬老週間（各フロア）	13～19 日
	運営会議（経営会議報告、実習生の対応、新型コロナ関連 他）	15 日（水）
10 月	入居者健康診断	5・7・22 日
	運営会議（経営会議報告、防災訓練、インフルエンザ接種、 新型コロナ関連 他）	15 日（金）
	静岡市指導監査（書面監査）	20 日（水）
11 月	入居者インフルエンザワクチン接種	4・11 日
	監事監査（定期監査）	9 日（火）
	静岡女子高実習生受入	10～16 日
	経営分析会議	16 日（火）
	運営会議（経営会議報告、洗濯室床面の焼損の件、新型コロナ関連 他）	16 日（火）
12 月	静岡女子高実習生受入	6～15 日
	クリスマス会（各フロア）	16～24 日
	運営会議（経営会議報告、看取り介護について、新型コロナ関連 他）	17 日（金）
1 月	新年訓示	4 日（火）
	運営会議（経営会議報告、3 回目ワクチン接種、新型コロナ関連 他）	14 日（金）
2 月	入居者及び職員 新型コロナワクチン接種（第3回）	3・14・16・24 日
3 月	職員腰痛検査	9・14 日

1. 特別養護老人ホーム 厚生苑 清流の郷

ア. 運営概要

新型コロナウイルス対策を継続しましたが、オミクロン株が主流となった第6波の最中、2022年1月25日に介護職員1名が陽性となり、同じフロアの介護職員、入居者に感染が拡大しました。該当フロアの隔離対応を行いました。2022年1月25日から2月27日の間に、最終の感染者数が職員5名、入居者6名、合計11名となりました。幸いに職員・入居者とも軽症で、他のフロアへの広がりがなく終息することが出来ました。

面会は、オンライン面会を実施し、対面の面会は2021年11月1日から再開しましたが、2022年1月12日から禁止を余儀なくされました。このような状況でも入居者のQOLを維持できるように、感染症対策を行いながらレクリエーション活動を実施し、苑内報で写真を多く掲載しました。家族宛に写真入りのメッセージカードを送り、コロナ禍においても入居者と家族のつながりを維持するための取り組みを継続しています。

2021年度の退所者は39名で、多くの方を施設で看取りました。看取り期には感染対策のもとで面会を実施しました。看取り介護に対する不安や思いを共有するために、看取り介護の振り返りのアンケートを実施しました。最後まで体を清潔にしてあげたい、好きな物を一口でも食べてもらいたい、家族と面会の時間を作ってあげたい、という職員一人一人の思いを共有し、終の住処として施設が果たす役割を振り返る良い機会となりました。

イ. 利用状況

■ 市町村別／性別人員

2022年3月31日現在

市町村	静岡市	市 外	県 外	合 計
男	23	－	－	23
女	90	－	－	90
合 計	113	－	－	113

■ 性別／年齢構成人員

市町村		静岡市		市 外		県 外		合 計
性 別		男	女	男	女	男	女	
年 齢 構 成	～59	－	－	－	－	－	－	－
	60～64	－	1	－	－	－	－	1
	65～69	－	4	－	－	－	－	4
	70～74	3	2	－	－	－	－	5
	75～79	4	7	－	－	－	－	11
	80～84	4	16	－	－	－	－	20
	85～89	5	21	－	－	－	－	26
	90～94	5	25	－	－	－	－	30
	95～99	1	11	－	－	－	－	12
	100～	1	3	－	－	－	－	4
平均年齢		男 84.61 歳		女 86.83 歳		全 体 86.38 歳		

■ 介護度別／性別人員

介護度	介護 1	介護 2	介護 3	介護 4	介護 5	合 計
男	－	－	7	11	5	23
女	－	1	29	39	21	90
合 計	－	1	36	50	26	113
割 合	0%	0.9%	31.9%	44.2%	23.0%	平均介護度 3.89

ウ. 年間利用者サービス実施状況

	行 事	地域ボランティア協力・支援
4 月	桜レクなど（各フロア随時）	感染症予防対策のため中止
5 月	端午の節句、母の日レクなど（各フロア随時）	感染症予防対策のため中止
6 月	父の日レクなど（各フロア随時） 17 日 静岡ホーム保育園 花の日訪問（花・メッセージカードの贈呈のみ） 3・11・18・21・24・28 日 新型コロナワクチン接種①	感染症予防対策のため中止 静岡ホーム保育園の代表者
7 月	七夕レクなど（各フロア随時） 2・9・12・19 日 新型コロナワクチン接種②	感染症予防対策のため中止
8 月	16～26 日 夏祭り（各フロア）	感染症予防対策のため中止
9 月	13～19 日 敬老週間（各フロア）	感染症予防対策のため中止
10 月	運動会レクなど（各フロア随時） 4・11 日 インフルエンザワクチン接種 5・7 日 入居者健康診断	感染症予防対策のため中止
11 月	18 日 総合防災訓練	感染症予防対策のため中止
12 月	クリスマスレクなど（各フロア随時） 4 日 英和女学院 クリスマス訪問（奉仕品・クリスマスカード等の贈呈のみ）	感染症予防対策のため中止 英和女学院学生の代表者
1 月	お正月レクなど（各フロア随時）	感染症予防対策のため中止
2 月	節分レクなど（各フロア随時） 3・14・16・24 日 新型コロナワクチン接種③	感染症予防対策のため中止
3 月	ひな祭りレクなど（各フロア随時）	感染症予防対策のため中止

* その他、各フロアでおやつバイキング等に参加

月 例	内 容	実施日	月 例	内 容	実施日
余 暇	電電萩の会歌の会	中 止	看 護	総回診	月 4～5 回
	民謡クラブ	中 止		皮膚科往診	月 2 回
	書道教室	中 止		歯科指導	月 1 回
	外 出	中 止		入居者健康診断	年 1 回
	レクリエーション（季節行事）	随 時		インフルエンザワクチン接種	年 1 回
	リハビリ体操（各フロア）	毎 日		新型コロナワクチン接種	年 3 回
	おやつバイキング（各フロア）	毎 日		血圧測定	週 2 回
	誕生会（各フロア）	月 1 回	栄 養	嗜好調査	半年毎
介 護	入 浴	週 2 回		体重測定	月 1 回
	シーツ交換	週 1 回	防 災	季節行事食	随 時
	ケアカンファレンス	月 10 回程度		防災訓練（月 1 回）	総合防災訓練 年 1 回
	理 髪	月 1 回			
	美 容	月 1 回			

2. デイサービスセンター清流の郷

ア. 運営概要

今年度も、昨年に引き続き新型コロナウイルス感染症対策として、送迎前の検温、手指消毒、利用者・家族の体調確認、県外への移動や県外からの来静確認、送迎車内やデイルームの消毒・換気を行いました。

また、デイルーム内の座席を横並びの二人掛けで配置し、仕切りの設置、入浴時の脱衣室での密を避けるため午前と午後の二部制を継続しました。新たにデイフロア・事務所に二酸化炭素濃度測定器を設置して換気の意識づけを行い、デイ当日の座席表を保管し、感染者が出た場合の拡大防止に備えました。幸いにして利用者や職員が感染する事態を防ぐことが出来ました。

外部ボランティアの受け入れを中止としたため、代わりに個別機能訓練・小集団体操の拡充、作業療法を兼ねたちぎり絵などの壁飾り制作を行いました。毎年恒例だった新聞への桜見物や、クリスマスの青葉公園イルミネーション見学は中止しましたが、利用者やご家族からは不満も聞くこともなく、事業運営が出来ました。

介護ソフトを導入し、タブレットを使用した記録の入力に切り替えました。記録業務の迅速化と情報の共有化、ペーパーレス化を図ることが出来ました。

実施月	行事内容	レクリエーション活動等
4月	桜の名所 DVD鑑賞	～毎月～
5月	母の日 カーネーション作り	カレンダー作り
6月	父の日 カード作り	体重測定
7月	七夕飾り	体力測定
8月	夏祭り 敬老の日準備	防災訓練
9月	敬老の日 運動会準備	書道
10月	運動会	季節の壁飾り制作
11月	壁面作り クリスマス準備	～毎日～
12月	クリスマス会 干支作り	脳トレ パズル 漢字 計算 むり絵など)
1月	正月遊び	生活機能向上運動 (個別)
2月	節分 お雛様作り	小集団機能向上訓練
3月	雛祭り 春の壁飾り	嚙下体操 作業療法

3. 厚生苑ケアマネジメントサービス

ア. 運営概要

昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症対策として、まん延防止措置適用期間は職員同士の接触を避けるため、半数の職員が仮事務所でパソコン入力業務を行いました。訪問を最小限とし、主に電話でモニタリングを行い、サービス担当者会議は事業所への照会に対応する形を取りました。まん延防止措置解除後は訪問を再開しましたが、利用者の体調確認のための健康チェックシートの活用等、感染予防対策を徹底しました。

また、感染発生情報を速やかに法人内事業所に伝達するとともに、サービス事業所によって感染発生情報の量や感染予防対策の意識に差異があるため、事業所への詳細な聞き取りを行い、より正確な情報を得ることで、感染拡大防止への対応を迅速に行うことが出来ました。

法定研修や他事業所との事例検討会、打ち合わせをオンラインで行うことが通常となり、操作も次第にスムーズに行えるようになり、コロナ時代に対応した非対面での会議開催方法について学ぶことが出来ました。

4. 厚生苑ホームヘルプサービス

ア. 運営概要

新型コロナウイルスの感染状況に応じた予防策を徹底し、普段の訪問は利用者の検温や健康チェックシートの聞き取りを実施し、まん延防止措置適用期間には、防護服の着用を行いました。実施する予防策については、利用者にも理解と協力が得られるように丁寧な説明と情報共有を行い、安心してサービスを受けてもらえるよう心がけました。

また「ヘルパーがウイルスを持ち運ばない」という意識を持ち、職員自身が健康管理に努め、訪問時の利用者の健康状態も併せて報告を行いました。日常的なコミュニケーションを職員同志がきちんと行うことで、連携を密に図ることが出来ました。

サービス内容については、利用している通所サービスの新型コロナの発生により、急遽訪問サービスに切り替える増回への対応や、ワクチン接種の同行訪問など、「新型コロナ」という背景が影響したケースが多くありましたが、在宅生活の継続という視点を常に持ちながら対応を行いました。

利用者の傾向としては、高齢者世帯の中でも、老夫婦より親子で65歳以上という老々介護世帯が増加しており、通院介助や入院中の洗濯など介護保険の枠組みではカバーしきれない自費サービスの依頼も年々増加しておりますが、ニーズを捉えて対応することで業務の幅を広げることができました。

イ. 利用状況

利用世帯状況と構成

2022年3月31日現在

世帯状況	世帯数	世帯構成	世帯数
一般世帯 (利用料負担率 10・20・30%)	49世帯	ひとり暮らし	43世帯
社会福祉法人減免世帯 (7.5%)	1世帯	高齢者世帯	10世帯
生活保護世帯 (0%)	8世帯	その他	5世帯
合計	58世帯	合計	58世帯

最低年齢 65 歳 最高年齢 98 歳

5.各種委員会・会議活動

ア．生活向上委員会

①高齢者虐待防止・身体拘束廃止委員会

指針・規定に基づき、切迫性・非代替性・一時性を確認の上、1名の身体拘束の実施を行い記録に残しました。虐待予防・発見チェックシートを実施し、虐待につながる不適切ケアについて考えました。集合研修が実施できなかったため、2本の動画研修を全職員が受講し、身体拘束排除の知識と虐待防止に関する理解について学びました。

②安全管理・感染症対策委員会

安全管理では、毎月、事故・ヒヤリッハット報告書の集計分析を行い、職員へ予防策の徹底を図りました。感染症については、新型コロナウイルスの発症シュミレーション、防護服の着脱やゾーニング訓練を実施し、予防策や発症した際の対応方法について学びました。

③食事・口腔ケア委員会

食事については、厨房の委託業者と共に、随時、電話やビジネスチャットを活用して、食事提供の課題と改善策について話し合いました。口腔ケアについては、感染状況を見ながら職員が協力歯科医院に行き、歯科指導と口腔機能維持にかかる助言や指導を受け、Web動画を活用して委員会内で共有を行いました。

④入浴・褥瘡予防対策委員会

利用者の皮膚状態や、軟膏と処置の仕方について情報交換を行いました。褥瘡発生を未然に防ぐため、エアーマットやマットレスの適正な使用方法を確認しました。浴室を清潔に保てるよう、消毒やメンテナンス方法を共有しました。

⑤広報・アクティビティ委員会

七夕、クリスマス、節分など、季節行事をフロア毎に行い、利用者の皆さんに楽しんでいただきました。8月には、フロアごとに夏祭りを開催し、輪投げや魚釣りのゲームを楽しみました。季節に合わせた掲示物の作成を行い、楽しんでいただきました。お正月には個人ごとに写真入り年賀状を作成し、家族に送り喜んでいただきました。

⑥排泄委員会

オムツの発注・納品や清拭タオルの必要枚数の検討など、日常業務に直結した排泄介護に関する話し合いを行いました。看護師よりオムツかぶれによる皮膚トラブルを予防するための助言を得て、各フロアで共有を行いました。

イ. 会議活動

①清流施設幹部会

拠点の幹部役職員による各事業所の運営状況の把握や運営方法などの検討を行いました。

②施設運営会議

毎月1回、施設長・副施設長・課長・栄養士・看護師・フロアリーダー・生活相談員などによる会議をオンラインで開催し、事業実施状況の報告、法人動向の報告、清流の郷運営に関する検討と情報の共有を行いました。

③フロア会議

例年、フロア毎に開催し、運営会議・生活向上委員会の報告、利用者の心身の変化に応じた統一した介護ができるよう課題やケア内容について情報の共有を行っていましたが、今年度は感染症予防の観点より開催を控え、日常業務の中での情報共有に努めました。

④ケアカンファレンス（担当者会議）

介護支援専門員が中心となり、利用者・家族の要望に沿った個別介護サービス計画について多職種での検討を、感染症予防の観点から書面で行いました。

⑤施設介護職員会議

例年、外部研修報告、内部研修などを計画していましたが、感染症予防の観点から実施を控え、集合会議に変えて、動画を活用した研修を個人ごとに行いました。

⑥通所介護サービス会議

毎月1回、基幹会議報告、研修報告、通所介護事業運営に関する検討や決定、利用者情報の共有などを行いました。

⑦衛生管理委員会

毎月1回、衛生管理者による施設内の衛生状況について、運営会議の参加者に報告と課題の説明があり、改善点について検討しました。オンラインで開催しました。

⑧防火・防災管理員会

施設長、防火管理者が中心となり、防災訓練の企画と実施のための会議を主に運営会議内で行いました。11月には地震発生・停電・通電火災を想定した訓練を行い、実際に全館停電を実施し非常発電装置を作動させました。

⑨優先入所判定・虐待防止・苦情解決第三者委員会

新緑の郷と合同で開催しました。第三者委員2名、両施設の施設長、法人本部職員が参加しました。多角的な意見から入所候補者を決定しました。また、虐待が疑われる案件や苦情を報告し、第三者委員から客観的な意見を得た上で再発防止策について話し合いました。

⑩ミールラウンド

協力歯科医師のほか関係職種職員が、昼食時の利用者の食事摂取状況の確認と改善点の検討を、毎月2回行いました。感染症対策のためWeb動画を活用して実施しました。

6. ボランティア活動

ア. 活動状況

月	件数 (件)	延人数 (人)	ボランティア内訳						1日 平均 (人)
			グループ		個人		中学・高校生		
			団体数 (団体)	延人数 (人)	件数 (件)	延人数 (人)	団体数 (団体)	延人数 (人)	
4	－	－	－	－	－	－	－	－	－
5	－	－	－	－	－	－	－	－	－
6	1	27	－	－	－	－	1	27	0.9
7	－	－	－	－	－	－	－	－	－
8	－	－	－	－	－	－	－	－	－
9	－	－	－	－	－	－	－	－	－
10	－	－	－	－	－	－	－	－	－
11	－	－	－	－	－	－	－	－	－
12	－	－	－	－	－	－	－	－	－
1	－	－	－	－	－	－	－	－	－
2	－	－	－	－	－	－	－	－	－
3	－	－	－	－	－	－	－	－	－
計	1	27	－	－	－	－	1	27	0.9

イ. 活動団体

・静岡ホーム保育園（外で花の贈呈のみ）

2021 年度

厚生苑 新緑の郷
事業報告

新緑の郷 計画と目標の総括（施設長 武田 剛）

1.施設入所〔特別養護老人ホーム〕【目標：実績】年間利用者 14,313 名：14,344 名／稼働率 98.00%：98.25%

（ア）業務の効率化と科学的介護の実践に努める。

業務の効率化のためここ数年継続して取り組んできましたが、介護業務手順にフロアごとの差異が確認されたため、今年度は施設全体として時系列を軸に見直しをしました。また科学的介護情報システム「LIFE」に積極的に取り組みました。次年度以降フィードバックを受け、ケアの質の向上を目指します。

（イ）身体的な介護負担軽減のための改善を進める。

介護機器や補助用具など、職員が汎用的に使用でき負担軽減を実感できるものの導入・定着には至らず、職員の機器使用への意識づけも低調なままでした。一方、1月には見守りカメラ8台を導入し、次世代センサーとして活用方法を模索しています。心理面の負担軽減に繋がることを期待しています。

（ウ）非常時下でのサービスの継続に向けた体制づくりを研究する。

感染症や災害発生時の介護体制構築の必要性を介護リーダーに啓発し対策を検討しました。また新型コロナ対策については施設看護課を中心に実施しましたが、幸い今年度施設内の発生がなかったこともあり、実際の運用、部署間の役割分担等の検証がなされておりませんので、継続した研究が必要と考えます。

2.通所介護〔デイサービスセンター〕【目標：実績】年間利用者 7,342 名：7,317 名／稼働率 67.88%：67.66%

（ア）接遇の向上と居心地のよいサービスづくりに努める。

利用者に居心地がよいと感じていただける対応ができるよう、職員の意識の变革に取り組みました。職員が接遇のみならず接客という意識を持つこと、新緑の郷デイサービスのめざす介護の方向性を職員間の共通認識とすべく、動画研修、ミーティングによるディスカッションを実施しました。

（イ）情報の発信と広報活動を積極的に進めて利用稼働率の改善を図る。

感染下、直接対面する広報活動はできませんでした。その代替として、ケアマネジャーに対し画像データ等を活用し、サービス内容や利用者の様子を正しく情報提供すること、問い合わせに対しレスポンスよく応えることを意識し丁寧に対応しました。その結果、下半期には稼働率の大幅な改善に繋がりました。

（ウ）業務分担の改善と共に協力して隔たりのない質の高いサービスを提供する。

日々の業務を整理し効率化を図りました。フロアレイアウト変更、生活総合機能改善機器の導入等、大きな変革となりましたが、「利用者へのより良いサービスの提供」と「職員が働きやすい職場づくり」を両立させることを目指し、職員間で協力しながら進めることができました。

主たる活動報告一覧表（新緑の郷）

月	実 施 事 項	実施日
4 月	新人職員研修	1 日（木）～
	運営会議（新型コロナ感染症ワクチン接種について、事業計画 他）	19 日（月）
5 月	母の日レク（ケーキ作成）	11 日（火）
	運営会議（新型コロナ感染症ワクチン接種について、監事監査 他）	17 日（月）
	監事監査（決算監査）	20 日（木）
6 月	入居者及び職員 新型コロナワクチン接種（第 1 回）	2～8 日
	入居者及び職員 新型コロナワクチン接種（第 2 回）	23 日～7 月 9 日
	運営会議（新型コロナ関連、内部 Web 研修について、職員人事について 他）	29 日（火）
7 月	七夕レク	6 月末～7 月 10 日
	運営会議（事業計画、敬老会、新型コロナ関連 他）	20 日（火）
8 月	スイカ割りレク	11 日（水）
	運営会議（新型コロナ関連、身体拘束防止・高齢者虐待防止研修実施と虐待再発防止（抵触事案）について 他）	23 日（月）
	職員健康診断	8 月～11 月
9 月	職員 Web 研修（①虐待防止に関する理解・②身体拘束排除の知識：全職員対象）	① 8 月 23 日 ～9 月 5 日 ① 9 月 6 日 ～9 月 17 日
	運営会議（見守りカメラトライアル、スキルマトリックス、看取り介護の指針・高齢者虐待防止に関する指針 他）	24 日（金）
	敬老会（各フロアーで開催）	26 日（日）
1 0 月	入居者健康診断	15 日（金）
	職員 Web 研修（③感染症、食中毒の予防及び拡大防止の知識）	18～31 日
	静岡市指導監査（書面監査）	20 日（水）
	運営会議（新型コロナ関連、職員人事、防災訓練について 他）	22 日（金）
1 1 月	監事監査（定期監査）	9 日（火）
	入居者インフルエンザワクチン接種	2・16 日
	運営会議（新型コロナ関連、職員ストレスチェック 他）	13 日（土）
	経営分析会議	16 日（火）
	総合防災訓練（新型コロナ感染症まん延防止のため机上訓練）	22・24・25 日
1 2 月	運営会議（新型コロナ関連、市指導監査結果報告、見守りカメラ導入 他）	22 日（水）
	クリスマスレク（ケーキ作り）	24 日（金）
1 月	新年訓示	4 日（火）
	運営会議（新型コロナ関連、新型コロナワクチン 3 回目接種について、見守りカメラ導入について 他）	24 日（月）
2 月	入居者及び職員 新型コロナワクチン接種（第 3 回）	10・15 日・16 日
	運営会議（書面・新型コロナ関連、事業計画進捗状況について 他）	28 日（月）
3 月	職員腰痛検査	18・22 日

1. 特別養護老人ホーム 厚生苑 新緑の郷

ア. 運営概要

新型コロナウイルス感染症への対応も2年目となり、職員一人一人が感染防止を強く意識し取り組んだ1年となりました。3回に渡るワクチン接種や入居者、職員の検査（抗原検査・PCR検査）の対応等、嘱託医等との連携を図りながら実施することができました。また、次々と現れた変異株に対しても施設の感染対策を見直し、修正を重ねました。

一般社会においてはコロナに対する危機意識の緩みが出る中、職員は閉塞感の中にあり気持ちの維持が困難な状況も見られましたが、職員同士で支え合うことで、危機意識・緊張感を維持できたと思われまます。結果、昨年度に引き続き施設内にコロナを持ち込むことなく、入居者の生活を守ることができました。ひとえに入居者家族他皆様のご支援や励まし、ご協力のおかげと考えております。

今年度は季節の変わり目に利用稼働が落ち込んだ月次もありましたが、累計稼働率は98.25%、計画に対し100.2%と概ね計画通りの施設運営ができました。入退所者は各々15名と近年と比較すると少ない1年でしたが、コロナ禍での新規受入れにはリスクも伴うためより慎重に進めてきました。また感染下では面会の機会や外部との交流が制限されるため、特に看取り期における家族との連携については、職員の中にも少なからず葛藤がありますが、最期まで丁寧な介護に努め、お見送りをさせていただくことができました。

イ. 利用状況

■ 市町村別／性別人員

2022年3月31日現在

市町村	静岡市	市 外	県 外	合 計
男	4	—	—	4
女	35	—	—	35
合 計	39	—	—	39

■ 性別／年齢構成人員

市町村		静岡市		市 外		県 外		合 計
性 別		男	女	男	女	男	女	
年 齢 構 成	～59	—	—	—	—	—	—	—
	60～64	—	—	—	—	—	—	—
	65～69	—	—	—	—	—	—	—
	70～74	—	—	—	—	—	—	—
	75～79	—	—	—	—	—	—	—
	80～84	1	—	—	—	—	—	1
	85～89	—	10	—	—	—	—	10
	90～94	2	15	—	—	—	—	17
	95～99	1	9	—	—	—	—	10
	100～	—	1	—	—	—	—	1
平均年齢		男 90.25 歳		女 91.88 歳		全 体 91.71 歳		

■ 介護度別／性別人員

介護度	介護 1	介護 2	介護 3	介護 4	介護 5	合 計
男	－	－	2	2	－	4
女	－	－	8	20	7	35
合 計	－	－	10	22	7	39
割 合	0.0%	0.0%	25.6%	56.4%	17.9%	平均介護度 3.92

ウ. 年間利用者サービス実施状況

	行 事	地域ボランティア協力・支援
4 月	桜レクなど（各フロア随時）	感染症予防対策のため中止
5 月	端午の節句、母の日レクなど（各フロア随時）	感染症予防対策のため中止
6 月	父の日レクなど（各フロア随時） 2～8 日 新型コロナワクチン接種① 23～7 月 9 日 〃 ②	感染症予防対策のため中止
7 月	七夕レクなど（各フロア随時）	感染症予防対策のため中止
8 月	11 日 スイカ割り	感染症予防対策のため中止
9 月	26 日 敬老会	感染症予防対策のため中止
10 月	15 日 入居者健康診断	感染症予防対策のため中止
11 月	2・17 日 入居者インフルエンザ予防接種 おやつレク（フロア開催） 総合防災訓練（机上訓練）	感染症予防対策のため中止
12 月	24 日 クリスマスレク	感染症予防対策のため中止
1 月	お正月レク（月間レク）	感染症予防対策のため中止
2 月	節分レク（月間レク） 10・15・16 日 新型コロナワクチン接種 ③	感染症予防対策のため中止
3 月	ひな祭り（月間レク）	感染症予防対策のため中止

月 例	内 容	実施日	月 例	内 容	実施日
余 暇	踊り鑑賞と歌う会	中 止	看 護	総回診	月 4 ～ 5 回
	書道教室	中 止		皮膚科回診	月 1 回
	フラワーアレンジメント	中 止		血圧測定	週 2 回 + 随時
	外 出	中 止		検 尿	随 時
	レクリエーション	随 時		健康診断	年 1 回
	リハビリ体操(フロア毎)	毎 日		インフルエンザワクチン接種	年 1 回
介 護	入 浴	週 2 回	栄 養	新型コロナワクチン接種	年 3 回
	シーツ交換	週 1 回		特別メニュー	月 1 回
	ケアカンファレンス	月 10 回程度		嗜好調査	年 1 ～ 2 回
	理 髪	月 2 回	防 災	体重測定	月 1 回
	美 容	－		防災訓練（月 1 回）	総合防災訓練 年 1 回

2. デイサービスセンター新緑の郷

ア. 運営概要

今年度は1年を通じて新型コロナウイルスの感染が続いている中での営業となり、デイサービス内に感染を持ち込まないよう細心の注意を払いながらの運営をしました。

前年度からの稼働低迷は継続し、特に上半期はその傾向が顕著になりました。コロナによる利用自粛の影響もありましたが、これをデイサービスの運営体制の見直し、サービス開発の機会と捉え、下半期の半年をかけ「デイサービス開発チーム」を中心に重点的に取り組みを行いました。

その成果として、①フロアレイアウトの大幅変更による既存イメージからの脱却、②生活総合機能改善機器の導入による活動の幅の拡大、③機能訓練室の有効活用等を行い、加えて、④職員が働きやすい職場づくりにも一定の効果がもたらされました。

結果、外部の居宅介護支援事業所より新規利用者を紹介していただく機会が増え、下半期からは徐々に稼働率の改善が見られました。上半期の低迷が影響し年間目標には一歩及びませんでした。計画比 99.82%、前年比 110.13%のところまで改善することができました。

実施月	行事内容	レクリエーション活動等
4月	お花見	～毎月～ カレンダー作り 体重測定 体力測定 防災訓練 書道 季節の小物作り
5月	運動レク	
6月	運動会	
7月	七夕飾り、祭準備	
8月	夏祭り	
9月	敬老会	
10月	運動レク	
11月	貼り絵	～毎日～ 脳トレ パズル 計算 むり絵 屋外歩行 生活機能向上運動（個別） 小集団機能向上訓練 嚥下体操 作業療法
12月	ゲーム	
1月	新年会	
2月	節分祭	
3月	ひな祭り	

3. 各種委員会・会議活動

ア. 生活向上委員会

①高齢者虐待防止・身体拘束廃止委員会

コロナ禍にあり委員会主催の職員を対象にした合同研修は実践ができず、それぞれ動画研修を実施し、介護の振り返りを実施しています。身体拘束廃止については、毎月身体拘束に該当する入所者の確認を継続しています。

②安全管理・感染症対策委員会

安全管理では、ヒヤリハット、事故報告書の集計分析を行い、重大事故に繋がらない対応方法を検討しました。また、動画研修を実施し事故予防への意識強化を図りました。

感染対策では新型コロナウイルス感染症対策の初動体制の構築のための取り組みを行い、施設へ感染持ち込み防止、変異株への対応等、委員長と看護課長が中心となり取り組みました。

③科学的介護情報システム「LIFE」対応委員会

2022年度の報酬改定により導入されたLIFEの情報の収集・活用を推進するため、新たに委員会を立ち上げ取り組みました。褥瘡の発生防止、口腔衛生の管理、ADL値の推移等、入所者のデータ収集と情報提出を行いました。

口腔衛生の管理では、協力歯科医師から入所者の特性に合わせた口腔ケアの助言をいただき、日々の介護に取り入れました。

④食事・アクティビティ委員会

入所者の身体状況に合わせた栄養管理・食事の提供、レクリエーションや年間行事を通じた生活上の楽しみための活動を包括して提供するため、今年度より合同での開催としました。コロナ対策によりほとんど実践ができませんでしたが、Webを使用したミールラウンドの取り組み等を開始しました。

⑤入浴・施設美化委員会

利用者への適切な入浴機会の提供のための活動、衛生管理等に基づく施設の美化活動への取り組みを行いました。

イ.会議活動

①幹部会議

幹部役職員による各事業所の運営状況の把握や運営方法などの検討を行いました。

②施設運営会議

毎月1回、施設長・介護課長・看護課長・フロアリーダー・デイ管理者による会議を開催しました。事業実施状況の報告、法人動向の報告、新緑の郷運営に関する検討と情報の共有を行いました。

③フロア会議

今年度は新型コロナウイルス感染症対策もあり集合形式での会議は行うことができませんでした。書面による運営会議・生活向上委員会の報告、利用者の心身の変化に応じた統一した介護ができるよう課題やケア内容についての検討と情報共有を行いました。

④ケアカンファレンス（担当者会議）

介護支援専門員が中心となり、利用者・家族の要望に沿った個別介護サービス計画について多職種で検討を行いました。コロナの感染状況により Web 会議、情報照会による代替としました。

⑤施設全体会議

通年、介護、看護、相談等施設内の多職種による情報共有および研修の場としておりますが、集合形式の会議は行うことができませんでした。研修については全体会議に代え、映像・書面で「虐待に関する理解」「身体拘束排除の知識」「感染症、食中毒の予防及び拡大防止の知識」等の研修を行いました。

⑥通所介護サービス会議

毎月1回、行事、レクリエーションの企画・準備、内部研修、通所介護事業運営に関する検討を行いました。利用者のモニタリングと情報の共有化に努めました。

⑦防火・防災管理委員会

防災に関することについて会議を開催しました。今年度は夜間を想定した防災訓練を机上訓練として実施しました。実体験としては消防署への発報方法、消火栓・水消火器を使用した初期消火、発電機の操作方法を学びました。

⑧優先入所判定委員会・苦情解決第三者委員会

清流の郷と合同で開催しました。今年度より構成メンバーを変更し、第三者委員2名、両施設の施設長、本部副本部長が参加しました。多角的に意見を交わし、入所申込者のうち優先入所判定基準により、上位入所候補者を決定しました。

また、第三者委員に対して苦情及び高齢者虐待の事案報告を実施しています。

4. ボランティア活動

今年度は新型コロナウイルス感染症対策のため、ボランティアの受入れは中止としました。

ア. 活動状況

月	件数 (件)	延人数 (人)	ボランティア内訳						1 日 平均 (人)
			グループ		個人		中学・高校生		
			団体数 (団体)	延人数 (人)	件数 (件)	延人数 (人)	団体数 (団体)	延人数 (人)	
4	—	—	—	—	—	—	—	—	—
5	—	—	—	—	—	—	—	—	—
6	—	—	—	—	—	—	—	—	—
7	—	—	—	—	—	—	—	—	—
8	—	—	—	—	—	—	—	—	—
9	—	—	—	—	—	—	—	—	—
10	—	—	—	—	—	—	—	—	—
11	—	—	—	—	—	—	—	—	—
12	—	—	—	—	—	—	—	—	—
1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
2	—	—	—	—	—	—	—	—	—
3	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	—	—	—	—	—	—	—	—	—

イ. 活動団体

なし